

出 水 市
事務事業評価報告書

平成26年10月

出水市行政評価市民委員会

目 次

はじめに	・・・ 1
1 事務事業評価の実施手順	・・・ 2
(1) 目的	・・・ 2
(2) 評価対象事業	・・・ 2
(3) 評価の進め方	・・・ 2
(4) 評価者	・・・ 2
(5) 委員会の開催経過	・・・ 2
(6) 評価結果の取扱い	・・・ 2
2 委員会総括	・・・ 3
3 評価結果一覧	・・・ 4
4 今後の方向性の考え方	・・・ 4
5 実施計画・事務事業評価シート	・・・ 5
(1) 市制10周年記念出水バル開催事業負担金（観光交流課）	・・・ 5
(2) こころのプロジェクト「夢教室」開催事業（学校教育課）	・・・ 6
(3) 二次予防対象者給食サービス事業（いきいき長寿課）	・・・ 7
(4) 自治基本条例推進事業（企画課）	・・・ 8
(5) ツルと歴史のまち応援基金事業（企画課）	・・・ 9
(6) 友好都市（周南市）職員派遣事業（総務課）	・・・ 10
(7) 人権教育・啓発事務費（生涯学習課）	・・・ 11
(8) いずみ宝子「命」のサミット開催経費（学校教育課）	・・・ 12
(9) さっぽろ東急「大薩摩展」参加経費（観光交流課）	・・・ 13
(10) ウォーキング大会実行委員会負担金（観光交流課）	・・・ 14
(11) 自立支援住宅改修費支給事業（いきいき長寿課）	・・・ 15

はじめに

少子高齢化の急速な進行、高度情報化の進展、環境問題の顕在化など、社会経済情勢の変化を背景とした厳しい財政状況の中、行政に対する市民の視点はより多様化・高度化してきており、加えて地方分権の流れの中で、最も市民に身近な地方公共団体である市町村の果たすべき役割はますます大きくなってきている。

一方、住民自治の担い手とされる私たち市民は、どのような視点で行政に関心を持ち、意見を述べ参画していけばいいのだろうか。私たちの暮らしを安全で豊かなものにしていくために、私たち自身の市政への関わり方も、今問われているのではないだろうか。

市民と行政がともに考え、ともに取り組む「共生・協働のまちづくり」が求められる中、出水市では、平成24年度に「出水市行政評価市民委員会」が設置され、市が行う事務事業について、市民の視点により検証・評価がなされる仕組みがつけられたことは、非常に大きな意義があるものとする。

本報告書は、事務事業の在り方に対する市民の意見として、評価結果等を取りまとめたものである。

出水市においては、評価結果や評価の際に委員から出された様々な意見や指摘について、真摯に受け止めていただき、次年度予算編成への反映はもとより、事務事業の在り方等を見直す際の積極的活用や、市民ニーズに沿った事務事業の展開など、今後の市政運営に広く生かされることを望むものである。

1 事務事業評価の実施手順

(1) 目的

事務事業評価は、限られた資源（ヒト・モノ・カネ）を効率的・効果的に配分することを目的に実施するもので、市民目線による評価を行うことにより、行政評価の客観性及び透明性を高め、公平・公正な行政サービスを推進するものである。

(2) 評価対象事業

平成26年度において実施している事業で、平成27年度も引き続き実施予定の事業や、平成27年度から新たに実施予定の事業を評価対象事業とし、今年度、二次評価を実施した39事務事業の中から、市が選定した6事務事業及び当委員会で選定した5事務事業の、合計11事務事業について評価を実施した。

(3) 評価の進め方

ア 事務事業の説明

各所管課長において、事務事業評価シートに基づいて事務事業の概要説明

イ 質疑応答

事務事業についての質疑応答

ウ 方向性等を決定

今後の方向性を決定する。また、委員長が意見を取りまとめて、方向性決定の理由や附帯意見を記録する。

(4) 評価者

行政評価市民委員会委員の6人で評価を実施した。

(5) 委員会の開催経過

会 議	開催日	会議内容
第1回行政評価市民委員会	平成26年9月17日	行政評価制度の説明、財政状況等の説明、前年度評価事業の取組報告
第2回行政評価市民委員会	10月1日	各事務事業の概要説明
第3回行政評価市民委員会	10月6日	市が選定した6事務事業の評価
第4回行政評価市民委員会	10月23日	当委員会で選定した5事務事業の評価報告書の作成、まとめ

(6) 評価結果の取扱い

当委員会での評価結果は、市長に報告することとする。

2 委員会総括

今回の行政評価市民委員会では、先ずもって、昨年度の市民委員会での附帯意見に対し、市からその後どのような検討や取組等が行われたかについて報告があった。その結果、それぞれの所管課において、費用対効果の検証や課題等の整理がなされ、概ね改善が図られていたようである。

また、今年度の評価に当たっては、単に予算を削減するための視点ではなく、市民ニーズに沿った事務事業であるかという観点から、①対象・手段の妥当性や市で実施する必要性、②事業費・人件費の削減余地、③成果の達成度・向上の余地といった視点に立って評価を行った。

事務事業の必要性は認められるものの、費用対効果の検証が不十分なまま継続されている事務事業も見受けられ、現在の実施手法・対象・予算規模等に改善の余地があるものもあった。今後においては、十分な検証を行うとともに、事業目的をより効果的・効率的に達成できるよう、絶え間なく見直しを検討する意識が必要である。

また、市の主要財源である普通交付税は、合併に伴う優遇措置が平成28年度以降徐々に縮減し、廃止されることなどから、将来的な財政事情は大変厳しいことが予想され、今後においては、真に必要とされる事務事業を取捨選択していくことが求められるであろう。行政サービスを低下させずに、新たな行政課題に対応していくためにも、職員一人ひとりの意識改革及び資質向上を図り、市民ニーズに沿った積極的な事務事業の推進が必要である。

行政評価市民委員会において出された様々な意見等が、今後の予算編成や事務事業の見直しにどのように反映されていくかは、継続した検証が必要であるが、効果的で効率的な行財政運営と市政発展につながることを期待する。

3 評価結果一覧

番号	事務事業名	所管課	評価結果
1	市制10周年記念出水バル開催事業負担金	観光交流課	事業内容等を改善し実施する
2	こころのプロジェクト「夢教室」開催事業	学校教育課	現行のまま継続
3	二次予防対象者給食サービス事業	いきいき長寿課	廃止
4	自治基本条例推進事業	企画課	現行のまま継続
5	ツルと歴史のまち応援基金事業	企画課	現行のまま継続
6	友好都市（周南市）職員派遣事業	総務課	現行のまま継続
7	人権教育・啓発事務費	生涯学習課	改善して継続
8	いずみ宝子「命」のサミット開催経費	学校教育課	現行のまま継続
9	さっぽろ東急「大薩摩展」参加経費	観光交流課	改善して継続
10	ウォーキング大会実行委員会負担金	観光交流課	改善して継続
11	自立支援住宅改修費支給事業	いきいき長寿課	廃止

4 今後の方向性の考え方

今後の方向性 （総合評価）	方向性の考え方
拡大	対象、手段、意図の拡大
現行のまま継続	現行のまま継続
改善して継続	事務事業の成果向上を図るために、手段（やり方）の見直しを行うことや、成果を下げずに事業費を削減すること。 また、受益者の負担水準・受益機会の適正化を図ることなど。
統合	他の事務事業との統合
縮小	対象、手段、意図の縮小
廃止・休止	事務事業の廃止・休止

5 実施計画・事務事業評価シート

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	観光交流課	記入者名	堀 昌伸	内線	345
事務事業名	市制10周年記念出水バル開催事業負担金		事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 27 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を生かした多様な産業が躍進するまちづくり					
	施策	観光の振興					
	細施策	観光資源の活用					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
出水バル開催事業負担金							

2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

市制10周年を記念して、福岡市、鹿児島市、霧島市などで開催しているバルを出水で開催する。“バル (BAR)”とは、スペインでは、喫茶店、立ち飲み居酒屋、食堂、社交場を指す。カウンターなどで飲んで食べて、かつ、おしゃべりを楽しむ。今回の出水バルは、市民が、友人数人で出かけて、気になっていたが、普段はなかなか入れないお店を知る機会になったり、市外の方が出水バルにより出水の飲食店を知る機会づくりのイベントである。

3 事務事業の概要

H27年度の事業計画	H28年度の事業計画	H29年度以降の事業計画
前売りチケット3500円 (当日4000円) 5枚つづりで5軒はしご 1枚でおつまみ+ワンドリンク 参加予定店舗数20店舗 チケット販売予定数300セット 市は実行委員会の事務局として運営に係わる		

4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
市民及び出水に興味のある市外の方 出水市内の飲食店を経営している方	前から気になっているお店の機会づくり、出水に興味のある方の機会づくり 飲食店にとっては、店を知ってもらうためのPR活動
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
1枚最低700円という手軽さでお店に入って、おつまみ+ワンドリンクを注文でき、初めて入るお店を知るきっかけづくりになる。また飲食店としてはバル自体では儲けるということではなく、自分のお店を知ってもらうきっかけとなる。	

5 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	出水市内の飲食業活性化及び交流人口増の機会づくりとして、市制10周年記念イベントとして実施する。

6 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	一次評価と同様に実施するが、実施するに当たっては、市制施行10周年記念事業事務局と調整を図ること。

7 今後の方向性、改善案等 (行政評価市民委員会)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	当事業の単独実施では市外からの集客が難しいと考えられるため、他の事業と抱き合わせるなど、検討して実施すること。

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	学校教育課	記入者名	柿木彰	内線	330
事務事業名	こころのプロジェクト「夢の教室」開催事業		事業期間	平成 26 年度 ~ 平成		年度	
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	義務教育の充実					
	細施策	学習指導の充実					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
命の教育推進事業費（こころのプロジェクト「夢の教室」開催事業）				01	10	01	03

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

財団法人日本サッカー協会が主催する「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』」を活用して実施するもので、サッカー関係者及び他種目の現役・OB・OGを『夢先生』として招き、「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」、「困難を乗り越えるため必要な自分の可能性」などを実技と講義を通して子どもたちに伝え、将来への希望や生きる喜びをもたせることを目的とする。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
	<p>「夢教室」の概要 対象：小学5年生 実施単位：クラス単位 時間：90分間 場所：体育館・教室 前半：ゲームの時間 35分 後半：トークの時間 55分</p> <p>市内の全小学校5年生を対象にクラス単位で実施（ただし、小規模校については集合学習時に実施） ・講師・アシスタント及びスタッフの派遣委託料 一式 4,200千円</p>	同左	同左

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
小学校5年生	こころのプロジェクト「夢の教室」を活用して実施する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」、「困難を乗り越えるため必要な自分の可能性」などを実技や講義を通して子どもたちに伝え、将来への希望や目標、生きる喜びをもたせる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成26年度からスタートする事業である。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	163
事務事業名	二次予防対象者給食サービス事業		事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	介護サービスの充実と地域ケアの推進					
根拠法令・条例、関連計画等		介護保険法、出水市給食サービス事業実施要綱					
予算細々目名			会計	款	項	目	細目
二次予防対象者給食サービス事業費			06	04	01	01	005

2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

在宅の65歳以上の高齢者(旧特定高齢者)の居宅に訪問し、食事の配食を行い、高齢者等の食生活を改善し、健康で自立した生活を営めるよう支援を図る。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
委託先 市社会福祉協議会 実績なし	委託先 市社会福祉協議会 利用者数 1人 配食数 312食 委託料単価 550円/食	-	-

4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
在宅の65歳以上の高齢者(旧特定高齢者)	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅に配食を行う。 ・配食の際に安否確認を行う。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の改善を図る。 ・安否確認において異常があれば、関係機関への連絡等必要な措置を講ずる。 	

5 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	ここ数年実績がなく、近隣市でも実施されていない状況であり、また、廃止した場合も他の事業(一次予防対象者給食サービス事業)で対応可能である。

6 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に廃止とする。

7 今後の方向性、改善案等 (行政評価市民委員会)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に廃止とする。

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	企画課	記入者名	田口 保	内線	223
事務事業名	自治基本条例推進事業		事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	住民と行政が協働するまちづくり					
	施策	住民参画の推進					
	細施策	市民意識の高揚					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市自治基本条例、出水市自治基本条例推進会議規則						
予算細々目名				会計	款	項	目
自治基本条例推進事業費				01	02	01	06

2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

自治基本条例は、分権時代にふさわしい出水市の自治の理念と自治運営の基本原則を明らかにし、自治体運営を担う主体の市民、市議会及び市の役割、責務等を明らかにするとともに、行政運営、市の在り方、自治運営の基本原則に基づく制度等、本市の自治の基本を定めることにより、効率的な行政運営や地域の活性化等が図れるような出水市の自治を構築することを目的としたものである。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
○推進会議開催経費 (1回) 委員20人 85,495円	○推進会議開催 (2回予定) 223,000円	○推進会議開催 (2回予定) 223,000円	H27年度事業の継続
○条例内容の見直し ・推進会議で22年4月の施行後、実態に合わなくなってきている表現等について一部改正すべきとの提言がなされた。	○推進委員の改選 ・推進会議委員の任期満了に伴い2期目の委員の選出を行う。 ○先進地視察 (P I 手法) ○条例の一部改正 (9月議会)		

4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
主に市民を対象とするが、自治推進の主役である市民、市議会議員、市職員の三者が対象となる。	市民に対し、本条例の周知を図り、条例の内容や趣旨の理解を図る。(周知手段の検討を行う)
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民については、市民が自治の推進の主役であるという意識の高揚を図り、自治の推進 (まちづくり) について、市民個々や地域でできることはできるだけ自助、共助の精神で解決してもらい、今後ますます厳しくなる財政状況の中、地域の活性化を図りながら、コストの面を含め効率的な行政運営ができるよう努力・協力してもらう。 ・市職員や市の執行機関等は、本条例に謳われた行政課題の解決に積極的に努め、市民に対する行政情報の積極的公開や市民参画の機会のさらなる提供等を行い、市民参画と協働による効率的な行政システムを構築する。 	

5 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本条例の実効性を高めるためには、市民への周知及び啓発活動が必要であり、周知方法の改善を図りながら継続する必要がある。新規採用職員への逐条解説の配布を行っていく。

6 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とするが、自治基本条例については、新規採用職員研修項目として実施するよう検討すること。

7 今後の方向性、改善案等 (行政評価市民委員会)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本条例は、市民、市議会及び市の責務等を明らかにするなど自治の基本を定めてあるが、市民には理解が難しいものである。まずは市から率先して理解を深める必要がある。それをもって市民への周知を図っていくこと。

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	企画課	記入者名	田口 保	内線	223
事務事業名	ツルと歴史のまち応援基金事業		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行財政運営を推進するまちづくり					
	施策	健全な財政運営の確保					
	細施策	財源の確保					
根拠法令・条例、関連計画等	地方税法（寄附金税制）、出水市ツルと歴史のまち応援基金条例及び施行規則						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目		
企画一般管理費（ツルと歴史のまち応援基金募集事業）	01	02	01	06	001		
ツルと歴史のまち応援基金積立金	01	02	01	05	007		

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

平成20年度に創設された国の「ふるさと納税制度」を活用し、広くふるさと納税の寄附金を募集し、寄附金を「出水市ツルと歴史のまち応援基金」に積み立て、一般財源を確保するとともに、将来都市像「人と自然が融和したにぎわいある元気都市出水市」の創造のため、地域資源の保全、観光振興、人材育成等の事業の財源とする。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 140人 寄附額 6,147,656円 ・県総会出席旅費 1,000円 ・募集チラシ・返信封筒印刷代 47,250円 ・消耗品費 7,056円 ・役員費 29,210円 ・広報紙発送委託 103,026円 ○平成25年度基金積立金 7,544,000円 ○基金活用事業 ・ツルと歴史のまち応援事業 979,000円 ・観光牛車支援事業 100,000円 ・指定文化財マップ作成事業 413,000円	○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 160人 寄附額 6,500,000円 ・報償費 120人 360,000円 ・募集チラシ・特産品チラシ印刷代 109,000円 ・消耗品費 7,000円 ・役員費 80,000円 ・広報紙発送委託料 147,000円 ○平成26年度基金積立金 3,037,000円（予算現計） 8,000,000円（目標） ○基金活用事業 ・ツルと歴史のまち応援事業 1,000,000円 ・観光牛車支援事業 100,000円 ・空き店舗再開事業 1,900,000円 ・青年の家ドームテント整備事業 2,300,000円	○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 180人 寄附額 7,000,000円 ・報償費 140人 420,000円 ○平成27年度基金積立金 8,500,000円（目標）	○ツルと歴史のまち応援基金 寄附者 200人 寄附額 7,500,000円 ・報償費 160人 480,000円 ○平成28年度基金積立金 9,000,000円（目標）

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
主に県外の本市出身者	寄附金の募集チラシを作成し、県外のふるさと会等で制度の周知と寄付のお願いをする。 平成26年度からは、年度内1万円以上の寄附者に対し、地元特産品等の贈呈をする。（ツルの恩返し便で取り扱う商品から選択）
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと納税」の制度の趣旨を理解していただき、寄附賛同者を増やすことにより、寄附額の増加を図り、本市の財源確保につなげる。 基金の事業目的とした4つの事業の財源を確保し、適時適切な事業に財源充当を行う。 	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本年度から寄附者への返礼品贈呈を導入したものであり、当分の間は、状況を検証していく必要がある。また、本制度の周知に努め、本市の財源確保につながるよう事業を継続する。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総務課	記入者名	兒島靖彦	内線	205
事務事業名	友好都市（周南市）職員派遣事業		事業期間	平成 26 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行政運営を推進するまちづくり					
	施策	時代の変化に対応した行政運営体制の構築					
	細施策	職員の資質と勤務意欲を向上させる人事制度の構築					
根拠法令・条例、関連計画等	地方自治法第 2 5 2 条の 1 7						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	
	人事管理費（友好都市派遣）	1	2	1	1	3	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

山口県周南市との友好都市間の交流を深めるために相互に職員派遣を行うもの
 派遣職員は、1年間の派遣期間を通じて、他市（周南市）の経済、文化、行政手法など多くの知識・経験を習得でき、人脈が広がることで、産業、文化、行政分野の活性化が期待される。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
職員交流事業なし	山口県周南市との間で、職員1人を相互に派遣する。 派遣結果は、報告会などを通じ、職員に周知する。	派遣職員を入れ替え、相互に派遣する。	本事業を継続しつつ、将来は他の友好都市等との交流も検討したい。

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市職員（派遣職員）	友好都市の周南市との間で、職員1人を相互に派遣する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
友好都市間の結びつきが強くなり、産業、文化、行政の交流を活性化させるための足掛かりができる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	制度が安定化し、派遣経験職員が一定に達するまでの間は、派遣交流を継続したい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	周南市との職員相互派遣後に実施する報告会が形式的なものとならないように留意すること。なお、派遣により培った経験等を今後の行政経営に生かせるような報告会を実施すること。

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	生涯学習課	記入者名	園屋典子	内線	801
事務事業名	人権教育・啓発事務費		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	人権の尊重					
	細施策	人権教育活動の促進					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
人権教育啓発促進事業費（人権教育・啓発費）				01	10	06	1 010

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別をなくし個人の尊厳を重んじる人権教育の推進を図る。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育講演会（1回、250人） ・教科、交流学習（講師3人、13回） ・部落解放・人権西日本夏期講座（職員1人出席） ・人権管理者研修会（職員1人出席） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育講演会（1回） ・教科、交流学習（講師3人、16回） ・部落解放・人権西日本夏期講座（職員4人出席） ・部落解放研究全国大会（職員1人出席） ・人権管理者研修会（職員1人出席） 	<p>H26年度事業の継続（職員が出席する研究大会・講座等については、北薩教育事務所から派遣要請があるため、年度によって人数や内容に変動がある。）</p>	<p>H27年度事業の継続</p>

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市民、担当主管課職員	市民に対し、人権教育講演会の実施。県・団体等が開催する各種研究大会・講座・研修会への職員参加。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別をなくし個人の尊厳を重んじる人権教育の推進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	継続して学び取り組むことで市民の人権問題についての認識が深まることや、今後も新たな人権問題にかかわる差別がうまれる恐れもあり、繰り返し継続して取り組む必要がある。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	人権教育の推進を図る必要があるため、現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	啓発活動を推進しながら市民参加を促していくこと。また、市民にわかりやすい事業実施や、関係課との協議、近隣自治体の取組状況の調査を踏まえて改善の検討も取り組みながら事業を実施すること。

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	学校教育課	記入者名	柿木彰	内線	330
事務事業名	いずみ宝子「命」のサミット開催経費		事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	義務教育の充実					
	細施策	人権教育の充実					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
命の教育推進事業費（サミット開催経費）				01	10	01	03

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

市内全小中、出水商業高等学校の児童生徒の代表が一堂に集まり、生と死の意味について真剣に考え、自他の命のかけがえのなさや人生が一度しかないことについて理解させるとともに、いのちの大切さや生きる喜びを実感させ、不登校やいじめ、問題行動等の生徒指導に関する諸課題の解決について皆で考える機運を高める。

学校の実践発表や保護者、地域の代表も参加したパネルディスカッション、命に関する講演会等を実施し、児童生徒の学校での活動と家庭、地域の活動を連携させて、地域ぐるみで「命の大切さ」、「児童生徒の健全育成」について考える機会とする。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
①実施日：8月5日（月） ②場 所：市文化会館 ③内 容 (ア)パネルディスカッション (イ)講演会「乙武洋匡」	①実施日：8月4日（月） ②場 所：市文化会館 ③内 容 (ア)パネルディスカッション (イ)講演会「中島啓江」	①実施日：8月上旬 ②場 所：市文化会館 ③内 容 (ア)パネルディスカッション (イ)講演会「未定」	①実施日：8月上旬 ②場 所：市文化会館 ③内 容 (ア)パネルディスカッション (イ)講演会「未定」

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
児童生徒、教職員、PTA会員、家庭教育推進員等各種団体代表	いずみ宝子「命」のサミットを開催し、パネルディスカッションや講演会を実施する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
児童生徒を含め、地域ぐるみで「自他の命の大切さ」、「児童生徒の健全育成の大切さ」について考えを共有し、行動できるようにする。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成25年度からスタートした事業であり、緒に就いたばかりである。命の教育については、長期的かつ継続的に取り組む必要がある。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続するが、参加児童を増やせるよう検討してほしい。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	講師の人選については、全国区以外にも九州内や地元の講師に依頼するなど随意契約により高額な支出にならないように検討する必要がある。また、アンケートの実施など事業の検証方法を検討するとともに、参加については強制にならないように事業を実施すること。

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	観光交流課	記入者名	阿多 広隆	内線	347	
事務事業名	さっぽろ東急「大薩摩展」参加経費		事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 年度				
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を生かした多様な産業が躍進するまちづくり						
	施策	観光の振興						
	細施策	観光資源の活用						
根拠法令・条例、関連計画等	出水市商工業団体等振興事業補助金交付要綱							
予算細々目名				会計	款	項	目	細目
出水地域（さっぽろ東急「大薩摩展」）				01	07	01	02	003

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

さっぽろ東急百貨店で開催される「燃える鹿児島 大薩摩展」に参加し、本市特産品を出展することで、地場産品に関する情報発信、販路拡大及び地場産業の振興を図る。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
第33回燃える鹿児島大薩摩展（10月31日～11月6日） 参加業者数：1業者 売上額：1,080,000円	第34回燃える鹿児島大薩摩展（11月6日～11月12日） 参加業者数：1業者	H26年度事業を改善して継続（職員の旅費削減）	H27年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
出水市特産品協会	出水市特産品協会が実施する事業に対し、補助金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
本市特産品に関する情報発信、販路拡大及び地場産品の育成を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成22年度からの継続事業であるが、宅配件数が増えるなど販路拡大に一定の効果を上げている。催事中同行していた市職員の派遣を中止したうえで、出展補助金の交付は継続する。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に改善して継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	宅配件数が増えるなど販路拡大に一定の効果を上げている。催事中同行していた市職員の派遣を中止した場合の出展先でのトラブルが発生した場合の対策をしっかりと行ったうえで市職員派遣の中止を行うこと。なお、将来的には出展補助金の廃止を検討すること。

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	観光交流課	記入者名	堀 昌伸	内線	345
事務事業名	ウォーキング大会実行員会負担金		事業期間	平成 15 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を生かした多様な産業が躍進するまちづくり					
	施策	観光の振興					
	細施策	観光資源の活用					
根拠法令・条例、関連計画等							
予算細々目名				会計	款	項	目
出水地域（ウォーキング大会実行員会負担金）				01	07	01	03
							005

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

国の特別天然記念物のツルの渡来地や出水市のすばらしい観光資源等をめぐるウォーキング大会を実施することにより、交流人口の増大や市の活性化と融和を図るとともに、九州新幹線や肥薩おれんじ鉄道の利用促進を図る。（平成23年度からは、企画政策課から観光交流課に事業を移管して開催）

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
出水市ツルのまちウォーキング大会開催 ・コース 16km、10.5km ・開催日 12月7日(土) ・実参加者 237人 うち県外 79人 県内(市外) 51人	出水市ツルのまちウォーキング大会開催 ・コース 15km、6km ・開催日 12月7日(日) ・発着地点 ツル観察センター 野田郷むらまつり会場	平成26年度事業の継続及び見直し	-

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市内外のウォーキングに興味を持っている方及び本市の観光地等に興味を持っている方など	新聞広告、ホームページ、他ウォーキング大会でのチラシ配布等による参加募集及び出水市ウォーキング協会を通じ、交流のある他県ウォーキング協会への案内を行い、出水市のすばらしい観光資源等をめぐるウォーキング大会を実施する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
交流人口の増大、市の活性化を図るとともに、九州新幹線や肥薩おれんじ鉄道の利用促進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	九州新幹線や肥薩おれんじ鉄道の利用促進を目的に始めたが、一定の成果を上げたので、平成27年度限りで廃止する。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に廃止とするが、廃止時期は今年度末とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	当事業は、目的の一つとしておれんじ鉄道の利用促進を図るとあるが、おれんじ鉄道の運営は厳しい状況にある。当事業はまだ改善の余地があると思われるため、おれんじ鉄道の駅が発着点となるようなコース選定や、事業の中でおれんじ鉄道を利用するなど改善を図りながら実施すること。

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外戸口 省太	内線	235	
事務事業名	自立支援住宅改修費支給事業		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度				
総合計画上の 位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり						
	施策	高齢者福祉の充実						
	細施策	安心と安らぎのある体制づくり						
根拠法令・条例、関連計画等	出州市高齢者自立支援住宅改修費支給事業実施要綱							
予算細々目名				会計	款	項	目	細目
	自立支援住宅改修費支給事業費			1	3	2	1	30

2 事務事業の目的 (何のためにするのですか)

高齢者の転倒骨折を予防し、寝たきり等の要介護状態にならないようにするため、住宅のバリアフリー化に必要な経費を支給することにより、高齢者の自立した生活を支援することを目的とする。

3 事務事業の概要

H25年度の事業概要	H26年度の 事業概要・計画	H27年度の事業計画	H28年度の事業計画
住宅改修に要した費用の 75/100 (15万円限度) 実績なし	利用件数 1件	H26年度事業の継続	H27年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象 (誰・何に対して行う事業ですか)	手段 (対象に対してどのような活動を行うのですか)
要介護認定申請をされ非該当と認定された 高齢者	手すりの取り付け、床段差の解消、滑りの防止及び移動の円滑化のための床材変更、引き戸へ扉の取り替え、洋式便所への便器取り替え等、高齢者等の身体の状況に適応するように改修する。
意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)	
高齢者が在宅での生活を継続できるよう支援する。	

5 今後の方向性、改善案等 (一次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	高齢者の在宅生活支援のための事業であるが、要介護認定申請をされ非該当と認定された高齢者が対象であることから、本事業の対象者となりにくいケースが多い。県内のほとんどの市町村でも実施されていない(廃止されている)状況であることから、廃止を検討したい。

6 今後の方向性、改善案等 (二次評価)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に廃止とするが、廃止時期は今年度末とする。

7 今後の方向性、改善案等 (行政評価市民委員会)

今後の方向性 (総合評価)	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に廃止とするが、制度廃止に際しては市民への周知を徹底して行い、市民に不利益が生じないように配慮すること。